

研究タイトル：

日本近代文学における上海に関する研究

氏名：	邵 金琪 / SHAO Jinqi	E-mail：	shaojinqi@numazu-ct.ac.jp
職名：	助教	学位：	博士(文学)
所属学会・協会：	関西大学国文学会, 全国大学国語国文学会, 阪神近代文学会, 日本近代文学会, 昭和文学会		
キーワード：	日本近代文学における上海, 外地文学, 中国で刊行された日本語メディア, 日中文学者の交流		
技術相談 提供可能技術：	・日本近現代文学、日中文化交流に関する講義 ・文学散歩の実践が可能 ・アカデミックライティングに関する講義が可能 ・中国語の講義、日中・中日翻訳と通訳が可能		

研究内容： 日本近代文学における上海及び周辺地域の表象に関する研究

日本近代文学における上海を、都市社会学、歴史学及び文化受容などの側面から研究している。日本近代文学は国境を越え、世界の様々な都市を舞台とする作品が生まれた。そうした文学の地域性を超越する可能性として、「都市と文学」という要素に注目している。異国で生まれた日本文学の可能性や、多様な時代と地域における文化の複合・混淆の位相、そこに潜む交流の諸相を研究によって照らし出している。

具体的な研究内容は、作家の上海経験を踏まえ、作品の分析を行い、上海の居留民社会、日本人のアイデンティティなどを手掛かりとして、上海の多層的なイメージを考察している。特に、プロレタリア作家たちが描いた革命都市上海のイメージを捉えるために、上海に起きた革命運動の歴史を視野に入れながら分析している。同時に、それらの作品の発表媒体になる雑誌における日中文学者の交流について、実証的な研究を行っている。また、海を越えた外地の日本語文学に注目し、戦時上海における日中青年の思想葛藤を分析している。

さらに、中国で刊行された日本語メディアに注目し、当時の日中の文芸状況と外交政策及び経済、政治の面から作品を考察している。外地の日本人作家たちは、日中全面戦争の勃発や親日の汪兆銘政権の成立などの影響で、日本の文化統制政策を作品に織り込みつつ、日本人と中国の農民との葛藤も描いていた。同時代コンテクストから実証的に作品の再読／精読を行ったうえで、上海の郊外や農村地域を舞台にした外地文学に、現地の文化界への影響という新たな視座と見解を導く。これらの考察によって、日本文学から日中両国の上海での文化交渉を総合的に捉えている。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	